

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営理念 創業時からの運営理念を、現状に合わせた理念に見直しする必要がある。	介護理念構築を図り、実践に繋げる。	研修で学んだBS(ブレインストーミング)法を用いて、現状を踏まえた介護理念を構築していきます。また、職員全体で理念を共有して実践に繋げていきます。申し送り時に理念を復唱、見やすい所に掲示することで意識付けを図っていきます。	3ヶ月
2	2	事業所と地域のつきあい 地域に自治会がなく、地域住民との関わりが少ない。	近隣の地域住民と関わりを増やしていく。	近隣の地域住民の自宅等を定期的に訪問し、顔馴染みの関係作りを図っていきます。また、グループホームでの行事やお茶会等へ地域住民の方々をご招待し、交流を深めていきます。	6ヶ月
3	35	災害対策 災害時に利用者様が避難できる方法について、地域住民との協力体制を整える。	近隣の地域住民と協力体制を築き、災害時には利用者様の避難誘導をお願いできるよう、共に訓練する。	近隣の地域住民と顔馴染みになって信頼関係を築き、災害時には最低でも2名以上の協力体制を整える。また、地域住民も交えて定期的に避難訓練を行い、利用者様を避難誘導して頂ける関係作りを構築していきます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。